

初等作文教授書

下

館藏書會育教本日大		
室四第		
二册	四架	四函
號		

魚函架號

東新七

小初等科 作文教授書 卷下

第四章

口上書類

一 ガクカウ。ビラキハイ。ツゴロカ。オタツ
子。マヨシマス。

ニ メウゴナヌカ。ガクカウ。ビラキト。ギンマ
学校開き。何れは。ハルカ

○ 學校開日
○ 明後日開

作文教授書

卷下

校式^{カウシキ}ビラキ^{ガクカウ}承候^{ウケテマシタ}

③昨日^{サトジツ}ノ^キ學校^{ガクカウ}

入門^{ニウモン}イリ候^{テラ}

④御入校^{ゴニウカウ}ニ^{ガクカウ}出度^{ニウモン}存候^{ノメデタク}

⑤此品^{コノシナ}御年^{オトシ}玉^{タマ}

シタ

以後^{イコ}七日^{ニチ}拜^{マツル}校式^{ガクカウ}と承^{ウケ}候^{マシタ}

③キノフ^{ガクカフ}ヘ^{ニウモン}シマシタ

昨日^{サトジツ}學校^{ガクカウ}へ入門^{ニウモン}いた^{テラ}候^{マシタ}

④ガクカウヘ^{ゴニウモン}ノ^{ヨシ}オノデ^{タウ}ゾンジマス

御入校^{ゴニウカウ}ニ^{ガクカウ}出度^{ニウモン}存候^{ノメデタク}

⑤コノシナ^{オトシ}タマ^{ノシル}シニ^{アゲ}

驗進^{ケンジン}上^{ウヘ}マ^{マス}候^{マシタ}

マス

は品^{モノ}御年^{オトシ}玉^{タマ}の^{タマ}上^{ウヘ}移^ユ候^{マシタ}

⑥ミゴト^ナオシ^ナクダサレ^{アリ}カタフ

ゾンジマス

見^ミ事^{コト}御品^{モノ}忝^{ハズカシ}

⑦子^コシ^シガテ^ライツ^{パイ}アゲ^{マス}カラ

オイ^デクダサレ

年^{トシ}始^{ハジ}旁^{ワタ}一^{イツ}

待^{マテ}上^{ウヘ}候^{マシタ}

マス

⑧御預有存候。

⑧オマ子キ。クダサレ。アリガタフ。ゾンジマス。

⑨昨夜者御馳

⑨サクヤハ。ゴチソウ。ニナリマシテ。アリ

走相成難有存

ガタウ。ゾンジマス。

候。

昨夜も沙汰を。お承知。なす。

⑩兼。御依頼

⑩マヘカラ。オダノマヨシタ。シヨモツ。オ

オタノマ。書籍。モツ拜

カシクダサレ。

借。致度候。

あるは。依頼。を。お承知。なす。

⑪約束之書物

⑪オヤクソクノ。シヨモツヲ。モタシテ。ア

持上候。

ゲマス。

沙汰。を。書物。お。せ。す。

⑫御用立

⑫オカシマヨシ。オイタ。シナモノ。カヘシ

御返被下度候。

テ。クダサレ。

⑬御大切品

⑬オダイジノ。シナモノ。ナガイアイダ。オ

存候

永々アイダ借用

仕カリマ。忝アリガ
シラ。多シタ
グシラ。

存候

⑤今日試験滞

相濟候

⑥昨日及第

ケラ之由目出度

一

カリ。マヲシマシテ。アリガタフ。ソンジ

マス。

沸大切。いふ水。水。借用仕ふ。あ

⑦コンニチ。シケン。ツガフヨク。シマイマ

シタ。

今日試験滞。いふ。あ。お。あ。み。ん

⑧シケン。ニトウキウ。オ。ボリナサレ。オ
メデタフ。ゾンジマス。

存候

⑨新鮮シキ生

鮭到來付御

配分申上候

⑩何好物贈

忝アリガ
タフ。存
フ。

⑪梅花咲揃

昨日及第。いふ。目出度。

⑫アタラシイ。ナマザケヲ。モライマシタ

カラ。オワケマヲシマス。

新鮮。いふ。鮭。到來。付。御。配。分。申。上。候。

⑬コノウヘナイ。スキナモノ。オクレナサ

レ。アリガタフ。ゴザイマス。

⑭ウメノ。ハナガ。サカリタカラ。オイデナ

下

下

四

候間御來車オコサマガタノオモリクルマデオ。

待上候マテアゲル。

⑨差支背御厚サシカヘのキゴコウ

意イゴシン。
セツ

⑩御子様方慰オコサマガタノオモリ

蜜柑一籠進土ミカンヒトカゴシンジマツ

アゲル
マス候

サイ。

梅花咲揃ウメハナサキスミと白浪來シロナミキを侍サマ上ノボリル

⑪サシツカヘアリマスユヘマイルコト

ガデキマセヌ。

と云ふこと何と云ふ事をもおもひ

⑫オコサマガタノオナダサミニニカン

ヒトカゴアケマス。

御子様方オコサマガタより慰オモリは蜜柑一

籠進上ミカンヒトカゴシンジマツル

⑬メヅラシキクダモノクダサレモシン

セツアリガタフ。ゲンジマス。

珍菓一籠贈下チンクハキダモノヒトカゴオウケ

程ホトカシ奉存ホウゾン

⑭アスハ。ガクカウヘオトモヲ子ガヒマ

ス

明日アスハ。ガクカウヘオトモヲ子ガヒマ

⑮珍菓チンクハ一ヒトカゴ

籃贈下御厚ハシオウケオモリ

意イゴシン。程ホトカシ奉存ホウゾン

候マテ。

⑯明日アスハ。ガクカウヘオトモヲ子ガヒマ

校御同伴モ相オモリトモトモ

願ネガフ度候マテ。

㊦ 昨夜腹痛サクヤ。ハクツウ。イタシタキヤカワイタシタキヤカワ。

致間休校カクワヤスミヤスミ。

仕候シカウ。

㊧ 御不快ゴフクイ。ヨシ由。

如何イカニ御尋申ダウダカ。オモシマシ。

㊨ 態々ハヤハヤニ御オ。

使難有奉存候ツキガタリタマフコト。

㊩ サクバンカラ。ハラガイタミマスカラ。

マイリマセン。

時花より腹痛致る休校仕

㊪ ゴビヤウキ。ダウダカ。オタツ子。マヲシ

マス。

湯ふきのせぬ何と云はる

㊫ ワザニオヒトヨクダサレ。アリガタフ

ズンジマス。

無くは候

㊬ アサツテハ。ハツウマ。マツリデスカラ。

オコタチ。ツレテ。オイデナサイ。

明後日も初午おまつり

まされ

㊭ コノアイダハ。オホゼイ。デマシテイロ

イロ。ゴチソウニナリマシテ。アリガタ

フ。ズンジマス。

名御馳走ゴチソウ。オフルマイ。

上。

㊮ 先日センジツ。イットウ。

㊯ 罷出マカリデ。シユク種々

名御馳走ゴチソウ。オフルマイ。

名御馳走ゴチソウ。オフルマイ。

難有。

Ⓐ 此程^{コノサタ}御出^{オイデ}

被下^{セタ}處何^{トコロナニ}之^ノ

風情^{フウセイ}アイモ御坐^{ゴザ}

御免^{ゴメン}可被下^{カセタ}候^{コウ}

Ⓔ 約束^{ヤクソク}之^ノ演劇^{エンゲキ}

明日^{アス}ス御同^{ゴドウ}

先々も一回お座りなすは地芝難
有なす

Ⓒ コノアイタオイテラダサレマシタガ。

ナンノオアイソモナクゴシクダサイ。

此程^{コノサタ}御出^{オイデ}被下^{セタ}處何^{トコロナニ}之^ノ
風情^{フウセイ}アイモ御坐^{ゴザ}

Ⓔ オヤクソクノシバイミニアスマ井リ。

タイカラゴソウダシマヨシマス。

道^{ミチ}ニオモ致度^{シタタ}御^ゴ

相談^{サタン}申上^{マシアゲ}候^{コウ}

Ⓐ 手紙^{テガミ}趣^{オモシ}承^{シヤウ}

知^チコト仕間^{シマ}明早^{メイサウ}

朝^{アサ}サトク御宅^{オタク}向^{ムカ}

參上^{サンジョウ}致候^{シタタ}

Ⓐ 墨堤^{ボクテイ}終^ハ櫻花^{イクラハ}

涉^{シバ}約^{ヤク}束^{ソク}之^ノ演劇^{エンゲキ}明日^{アス}同^{ドウ}

新^{シン}成^{セイ}はな候^{コウ}上^ウ作^{サク}

Ⓐ オテガミノコトガラシヨウチシマシ

タカラアスノアサハヤクオタクヘム

ケマ井リマス。

御^ゴ座^ザに趣^{オモシ}召^{メカ}仕^シ下^カり

水^{ミヅ}書^{カキ}向^{ムカ}け系^{ケイ}上^ウ被^セ下^タ

Ⓐ スミダガハノサクラガサカリデスカ

サクラ。マシカイ。サシ。ハナ。満開。散。歩。旁。御。遊。覧。多。如何。誘。イカバ。サシ。

⑤明日。ア。幸。ド。シム。サ。ジンム。テ。ス。神。武。祭。ウ。オ。マ。リ。休。暇。付。早。朝。御。供。仕。度。候。

ラ。サシ。ホ。ガ。テ。ラ。オ。デ。カ。ケ。ハ。イ。カ。バ。テ。ス。カ。

⑤ア。ス。ハ。テ。ウ。ド。ジ。ン。ム。サ。イ。ノ。ヤ。ス。ミ。デ。ス。カ。ラ。ア。サ。ハ。ヤ。ク。カ。ラ。オ。ト。モ。シ。マ。ス。以。り。と。キ。神。武。祭。の。休。暇。付。御。供。仕。度。候。

⑤久々。アイ。ダ。イ。御。無。音。サ。タ。相。過。御。様。子。御。伺。ッ。申。

上。度。候。

⑤是。却。コ。チ。ラ。御。無。沙。汰。シ。セ。ン。申。

上。忍。入。候。

⑤ナ。ガ。イ。アイ。ダ。ゴ。ブ。サ。タ。シ。マ。ス。ガ。ベ。ツ。ニ。オ。カ。ハ。リ。ハ。ア。リ。マ。セ。シ。カ。

久々。アイ。ダ。イ。御。無。音。サ。タ。相。過。御。様。子。御。伺。ッ。申。

⑤コ。チ。ラ。カ。ラ。ハ。カ。ヘ。ツ。テ。ゴ。ブ。サ。タ。シ。マ。シ。テ。オ。ソ。レ。イ。リ。マ。ス。

是。却。コ。チ。ラ。御。無。沙。汰。シ。セ。ン。申。

上。忍。入。候。

⑤ 過日^{スツツ}夕^{オキカヒ}御願^{イナジ}

一事^フ如何^{イカバ}

御尋^{オタツ}申上^{マシ}候^{ケレ}

⑥ 御依頼^{ゴイライ}頼^{オタノ}

儀^ギ今^{イマ}埒^{マシ}明^{アカシ}申^{マシ}氣^キ

毒^{ドク}存^ゾ候^{ケレ}

⑤ コノアイダ。オ子ガヒ。マヲシマシタコ

ト。イカバテスカオタツ子。シマスル。

過日^{スツツ}夕^{オキカヒ}御願^{イナジ}

一事^フ如何^{イカバ}

⑥ オタノミノコト。マダ。ラチガ。アキマセ

ン。ユヘオキノドクニバンジマス。

儀^ギ今^{イマ}埒^{マシ}明^{アカシ}申^{マシ}氣^キ

毒^{ドク}存^ゾ候^{ケレ}

⑤ 此間^{コノマタノコト}之事^{ノツキ}付^{ツキ}

御相談^{ガサダン}申上^{マシ}度^デ

候^{ケレ}間^マ勝手^{カテ}御出^{オイデ}

被^{サレ}下^ダ度^デ候^{ケレ}

⑤ オハナシアイノコトガ。アリマスカラ。

カツテガマシク。アリマスガ。オイデク

ガサレタイ。

は。百々事^{ヒャクハクジ}。月^{ツキ}は。お。候^{ケレ}。と。なる。

間^マ勝手^{カテ}御出^{オイデ}

⑥ イマカラ。カキツバタヲ。ミニマ井リマ

スカラ。オヤクワクノ。トホリ。オサソヒ

マヨシマス。

上候。

先刻來人

有之殘念

御供仕兼

候。

頃目病人様

容体如何哉

只今より遊子花下を歩むは
約束に任せは侍ひし人

サキホドヨリキヤクガアリマスカラ

ザン子ナガラオトモデキマセヌ

先別も約束人より残念

づし侍はる下

コノゴロゴビヤウニンノゴイヤウダ

イハイカバデスカハヤクヨクオナリ

全快之程相

祈候。

毎々を御懇

切尋難有

追々快必ト

配慮被下間

敷ルナ候。

ナサレルイヤウイノリマス

頃目には病人様より御祈り

ふりし全快に程お祈り

タビタビゴシンセツニオタツ子クダ

サレアリガタクダンダンヨクナリマ

スカラオアンジクダサルナ

あまは地切はるるに難を遣は快

くお来りし御祈りよりお祈り

〔聖〕無^{カキ}マ^ハ御依頼^{イライ}

申上^{マシ}候^{コト}マシ^タ娘^{ムスメ}

明日^{アス}ア^ハ縫裁^{ヌイ}モ^ノアイ

教授^{キョウジュ}ヘル願上^{ガンジョウ}候^{コト}

オタ^フマ^シタ

〔聖〕令嬢^{レイジヤウ}オ^シヤ^マ明^{アカ}

日縫裁^{ヒヌイ}修^{シユ}行^{コウ}

被^{サレ}成^ナ度^タ旨^シ承^{マシ}タ

〔聖〕マヘカラ。オ子ガヒ。マヨシ。オキマシタ。

ムスノ。ケイコ。ノウニチヨリ。子ガヒ

マス。

縫裁^{ヌイ}修^{シユ}行^{コウ}候^{コト}

被^{サレ}成^ナ度^タ旨^シ承^{マシ}タ

〔聖〕オジヤウサマ。アスヨリ。ハリシゴト。オ

ケイコ。ナサレタキヨシ。シヨウチ。シマ

シタ。

知^チコ^ム致^シ候^{コト}

〔聖〕雨天^{ウテン}路次^{ロジ}

鹿酒^{シノサケ}一^{イツ}

獻^{ケン}差上^{サジョウ}度^タ候^{コト}

間御臨車^{マインリンシャ}待上^{マシ}

候^{コト}

〔聖〕梅雨^{バイウ}日^ヒ々^ツ

佛令嬢^{ハツレイジヤウ}修^{シユ}行^{コウ}候^{コト}

被^{サレ}成^ナ度^タ旨^シ承^{マシ}タ

〔聖〕アメデ。ミチハ。ワルクアリマスガツマ

ラナイ。サケイツ。バイ。サンアゲマスカ

ラ。オイデクダサイ。

雨^{アメ}天^{テン}路次^{ロジ}

鹿酒^{シノサケ}一^{イツ}

〔聖〕ツユデ。マイニチウツタウシクアリマ

三。贅陶敷寂寥
ニ。タヘカチ。トコロマキ
シ。堪兼多處招
被下忝拜承仕
候。シヨチ。
シマシタ。

シヤウ。ベジギ
商法。便宜
昨日。何町
何番地轉居
ル。バンチ。キヨ
ル。サシ。エマチ

スカラサビシクテタマナイトコロ
ヘオマ子キクダサレアリガタクゾン
ジマス。

梅白目。此府陶敷寂寥と地へ事
中。此府に事と云く拝承仕候

シヤウバイノツガフニテキノフナニ
テウナレバンチヘヤドガヘシマシタ
カラオシラセマヨシマス。

仕候間。シタカ。報

知セ申上候

昨日。都合

能引移カヘ相濟

由。目出度存不

日。御伺申上

候。オタツマ
マシマス。

近。日。方。遠

商法。便宜。と云く昨日何町何番
地。轉居仕候。此府に事と云く
昨日。都合。能引移カヘ相濟。由。
目出度存不。日。御伺申上。候。
オタツマ。マシマス。

近。日。方。遠

十二

方トコロ旅行ニキ

此一折御贖レニ

モノヒト。驗差上

度候。

御贖何御品

御恵授オクレ

奉拜受候シマス

ナサレルツウダカラコノヒトヨリオ

ハナムケニアゲマス

近自遠方へは旅行しては折

は終るまでとて候

○オハナムケトシテナニヨリノシナオ

クレナサレアリガタウゾンジマス

御贖として何れも御贖

授ふべくもあらず

御旅行中ノル

嚙淋事奉存

何相應タコト用

向御坐候ハ遠

慮被仰下度候

留守中種々

台世話成昨夜

○オルスチウハサゾオサビシゴザリマ

シヨウガソウオウノゴイヤウムキカ

アリマシタラオホセクダサレタイ

御旅行中嚙淋しきり

何れも御贖として何れも御贖

授ふべくもあらず

○ルスノアイダバオセロニナリマシタ

ガサクバンオソクカヘリマシタユヘ

遅歸宅カヘル先
報知セ申上置
候。

函館氷些到
來暑中サ見
舞驗呈上マテ

オシラセマシマス。

留守中ノ様々ハ世話ノ憂ノ難
有ル様ニテ御覽仕テ百先此報
お上ル

函館ハコダテノコホリモラヒマシタカラ
アツサニマヒノシルシマデニアゲマス
函館ノ氷些到來御覽上ル
暑中ノ様々ハ御覽仕テ百先此報

暑中御尋

氷塊リ澤山被

下難有何御目

懸御禮可申上

候。

奥様今曉

御安産殊

アツサノミマヒニコホリクダサレア

リガタフイツレオノニカ、リオレイ

マヲシマス。

暑中ノ様々ハ御覽仕テ百先此報

難有何様御目ハ御覽仕テ百先此報

アツサ

オクサマケサオトコノオコオウミナ

サレノデタクスコシナガラコノシナ

奉待候

⑤ 折角心切ゴシ

招被下處生憎

オリ一事出来

テ参堂ル仕兼

不惡御思

臨み程事な

⑤ セツカクゴシセツニオマ子キクダ

サレマシタガオリワルクイヤウジガ

デキマシタカラマ井ルコトガニキマ

セヌ

折角心切と招き下りて

生憎なりある仕兼を思ふ

閑ふ思ふ思ふのつみ

⑤ 本月詩會

幸明晚中秋

八月付月見旁某

樓如何御相

談及

⑤ コノツキノシクワイヲアスノバンノ

ツキミヘカケテソレノロウニテヒラ

キマシタライカバダカゴソウタシマ

ヲシマス

即月には多き月夜に

秋の月を見よ某樓より某會

つみぬけや思ふ候に及ん

⑤ ツキナミノシクハイヲアスノバンノオ

⑤ 月例詩會明

作文及受書

卷下

晩^{バン}某^シ樓^{ロウ}ド^ドコ^コソ^ソコ
御^ゴ開^{カイ}會^{ワイ}段^{ダン}至^シ
極^{ゴク}面白^{オモシロキ}趣^{シュ}
向^{カウ}意^イ同^{ドウ}意^イ同^{ドウ}意^イ

ヒラキノコト。コノウヘモナキ。オモシ
ロキ。オモイツキダカラ。ゴドウイ。マヲ
シマス。

月例^{ツキレイ}詩會^{シカイ}明^{メイ}晚^{バン}某^シ樓^{ロウ}ド^ドコ^コソ^ソコ
開^{カイ}會^{ワイ}段^{ダン}至^シ
極^{ゴク}面白^{オモシロキ}趣^{シュ}
向^{カウ}意^イ同^{ドウ}意^イ同^{ドウ}意^イ

豫^ヨマヘカ。所^{ショ}望^{マウ}
書^{シヨ}画^グ會^{カイ}明^{メイ}日^{ニチ}

マヘカタカラ。オノゾミ。シヨグハク
ワイ。アス。ドコソニ。アリマス。カラ。オト

於^オ午^ウ後^ゴ御^オ
供^{トモ}仕^シ度^{タク}候^{コウ}

モイタシマス。

豫^ヨ留^{リウ}所^{ショ}望^{マウ}
開^{カイ}會^{ワイ}段^{ダン}至^シ
極^{ゴク}面白^{オモシロキ}趣^{シュ}
向^{カウ}意^イ同^{ドウ}意^イ同^{ドウ}意^イ

明^{メイ}日^{ニチ}書^{シヨ}画^グ
會^{カイ}必^{ヒツ}御^オ供^{コウ}願^{ガン}
度^{タク}且^ニ路^ロ次^ジ都^ツ
合^ガ午^ウ饌^シ後^ゴ

アスノ。シヨグハクワイニハ。キツトオ
トモ。子ガヒマスガ。ミチノツガフモ。ア
リマスルデ。ヒルメシノゴ。アナタノ。オ
タクヘムケテマ井リマス。

貴宅キタク 向參オウサン

上ジツ 上マイリ

明日は、
旦路次、
貴宅へ向け参上候

東籬トウリ 黄ワウ

菊キク 奇麗キレイ

咲揃サキゾロ 村酒ムラサケ

野有ヤカウ 御對酌ゴタイシヤク

閑暇カンカ 責ヒ

カキ子ノキクガキレイニサキノロト
マシタエハヤサイニツイパイノミ
マスカラオイデクダサイ
東籬は、
村酒を有るは、對砂仕度

臨被下度リンキタタタ

高門カウモン 敲ダク

折御籠招オリゴテウセウ

蒙難有早速オマ

吟囊ギンノウ 相アイ

推考オサ 拜趨ハイスウ

閑暇は、
高門を敲るやと、折御籠招

オタツネニマイラフトオモフテナル

トコロヘオマ子キクダサレアリガタ

クスグシヨツクルダウグヲモツテマ

井リマス

高門を敲るやと、折御籠招

花招と、
お参りへお趣仕

⑤ 追々夜永相

ナリツキメウバン
成付明晩

トクホンリンカウ
讀本輪講

ゴニフライ
御入來

リヤウサシメイ
御兩三名

マテソロ
待候

⑤ オヒオヒヨナガニナリマシタカラア

スノバンヨリトモダチニサシニンデ

トクホンノリンカウヲイタシマスカ

ラオイデナサイ

是より後より明晩より

同志ある名を讀本輪講に

召入事なり程なり

⑤ アスノバンヨリトクホンノリンカウ

⑤ 輪講

ヨシハウチ
由報知

クダガタアリニ
下難有何卒

セキマツ
生多席末

ラ
入ル願上候

⑤ 過日

シ
心申上置金

オハジメナサレルヨシオシラセクダ

サレアリガタフダウヅワタシモナカ

マヘオイレクダサイ

明晩より讀本輪講に

此は難なり何事なり

末より入事なり

⑤ コノアイダオタノマヨシオキマシタ

キンストノフテアリマスレバコン

子^ス子^カ調^ト調^ト相^ア成^ナ

今^コ夕^セ証^シ書^シ

相^ア携^サ上^ウ昇^シ

様子^イ伺^ス

過^カ日^ジ來^リ

御^ゴ依^イ頼^ラ金^キ子^ス

子^カ種^シ々^ユ心^シ配^ハ

バン。シヨウモン。モツテ。アガリマスガ。

ゴイヤウス。オタツ子マヲシマス。

過日來。上。昇。子。調。成。

相携。上。昇。様子。伺。

過日來。御依頼。金子。子種々。心配。

過日來。オタノミ。ノ。カ子ニツ

キイロイロ。シン。パイシテ。ナマスガ。

ソカマヘノ。コトユヘ。コンバンニハ。チ

致^イ居^ク節^{セツ}前^{ゼン}

事^{コト}故^{ユヘ}今^コ夕^セ

調^{テウ}兼^{ケン}

貴^キ兄^{ケイ}此^{コノ}回^{タビ}

定^{テイ}期^キ試^シ験^{ケン}首^{シュ}尾^ビ

能^{ヨク}業^ゲ趣^ス目^メ出^デ

業^ゲ趣^ス目^メ出^デ

業^ゲ趣^ス目^メ出^デ

ツト。デキカ子マス。

事。故。今。夕。調。兼。

貴。兄。此。回。定。期。試。験。首。尾。

能。業。趣。目。出。

能。業。趣。目。出。

マシテ。オメデタフ。ゾンジマス。クハゲ

ウボン。イチブ。オイワヒニ。サシアゲマス。

貴兄。此。回。之。期。試。験。首。尾。

度奉存科本クシマツシシホ

モツヨ 一部聊御イチブチャウゴ

祝印追呈上イハヒシルマデテイシマウ

過日クハジツ倭倅ガフコウ

定期試業テイキシゲフ

及第キウグイ賞譽シヤウギ

蒙却カウリク漸愧サツテ

至イタリ

イ至

能得卒業之題目出度なりや

科本一部聊御祝之印上

呈上は作

⑨ コノアイダコボレザイハヒテシケン

ソツゲフシマシタガオホメニアツカ

リカヘツテハチイリマス

呂日倭倅之定期試業及第

は之蒙却賞譽を漸愧とす

惭愧

⑧ トシズエニテサゾオセワシクアリマ

スダラウカキヒトタルヒロシマヨリ

モライマシタカラセイボノシユウギ

ニアゲマス

兼抄望は如開きあり候と

一掃廣嶋より来る候と

是は祝儀として

⑦ 歳抄サイショ無繁ムハン

開祭カイサツ儲サテ

霜蟹ソウカイ一樽イチタル廣ヒロ

島シマ到來トウライ歳サイ

暮ボ祝儀シウギ獻呈ケンテイ

ル

証金拾貳圓

也右慥受取申

候以上

覺御書狀

書籍十冊右

正請取申候

也

記御布告

証

一室控貳圓也

右慥受取申候以上

覺

一書狀

一書籍

右正請取申候也

記

御順達落

手致

袂紗包一箇

確受

屏風一雙火

鉢壹箇備

一御布告書

右御順達落手致也

記

一袂紗包

右正請取申候也

記

一屏風

一火鉢

右帳付用紙也

⑤ 記

一 紙包

一個

右陸運元會社を以て

ヨシヤ

⑤ 記

一 卷荷

十箇

右便船を以て差立也

⑤ 紙包 コモツミ
タルニモツ

陸運元會社 ニモツ

ヨシヤ サシタテ

⑤ 卷荷 マキニ
ジツフコ
ビシ 十個 便

船 セシ
ハコ
フチ 差立

⑤ 縮緬 チリノ
シワ
タネ 十反 御

注文差出受取

可被下

⑤ 記

一 縮緬

十反

右江注又付是如旨

由是取て下り上

⑤ 記

一 法紙包

三個

一 琉球包

貳個

右より後無澤船何号

⑤ 澁紙包 シツカミ
シツ
リウキウ 琉球

包 ツミ
ギ
ハコ
タビ
シヨウ 右者此度蒸

瀛船何号積込

着港ニツク次第

④ 看梅之御誘

ウツミ。カイチンダイイチ
ノオサ。開年第一
ノハビ。之遊
ハルカラ。殊更
ガタフリモモロジ
難有。尤路次

ツガフレンヂヤテイ
都合某茶亭

マチタ。ハイタフ
待受拜答

コノタビレイラウ
⑤ 此度令郎
ガクレイ。就學

遊育殊更難有尤
後所々都令もる
茶亭もる御誘文
上
様

⑤ 入學を賀する文

此令郎は學齡を有し就
學は誠によし
後日の上達を望む

ニ。レ。イ。リ。カ。キ。ニ。ツ
が伶俐氣質

グ。ニ。チ。ジ。ウ。タツ
後日上達

ウ。シ。ウ。ダ。ヨ。ウ。ク。ハ
想像因課

ホ。ン。チ。ブ。ハ。イ。ガ
本一部拜賀

シ。ン。デ。イ。ジ。ヤ。ウ。ク。ハ。テ。イ
印呈上課程

ノ。ス。エ。ガ。ク。カ。ウ。ダ。ナ。
之未供

タイ。カ。ウ。シ。ア。フ。ダ
大幸不具

ミ。ハ。エ。ニ。不。宜。
不備等

ナ。オ。ナ。ジ。コ。ロ。ナ。リ
ナオナジコナリ

像は因課程一部を賀
し即ち之を呈上し
後日の上達を望む

⑥ 右は答する文

此令郎は學齡を有し
及之を呈上し
後日の上達を望む

⑥ 此間愚息コノアイノクソクレセガ
 キ、オホビサンク
 聞及早速キコエタツソク必愛
 贈オモハル拜納ハイナフ不
 日シツ召連ソシレサシドク參堂
 縷々ル、マサ可申謝イサニ
 共不取敢禮オレドモストリスレイ
 艸々ソク、フイツ不一

⑦ 新富座初狂シントミザハツキヤウ

尺づき石目五連れ多き為に
 こそ謝山天ふ多き礼の
 みゆく之

⑦ 觀劇を断る文

新富座より初狂を断る件
 申さるゝききとて多き禮
 いふ海より供物とて一
 改めども多き氏と供物館

言頗評判熊々ゲンハツパンクママ
 誘誠供既ニ某サシヨトモスニ
 氏博物館見物シハクブツカンミフツ
 先約センヤク殘念ザンゼン
 此回断謹答コノタビハツグンサ
 ⑧ 兼取掛何々カンキケケナニ
 商法略々用意シヤウハツリョクヤウイ
 相整來何日シタ。アイトナニキタルニナ

又物より先約より多き禮
 多きとてば何より多き
 強て

⑧ 店開吹聴の文

あるお掛より多き何々商法略
 用意お整ひより多き何々
 日并に仕一層勉強座候

開店二層勉

強廉價可差

上何卒知已

諸君序節吹

聽希拜布

九着手何商

弥開店殊肆

儀四方要路

とてとてとて何年何月何日
とてとてとて何月何日何時
とてとてとて何月何日何時
とてとてとて何月何日何時
とてとてとて何月何日何時

九 右小答る文

とてとてとて何月何日何時
とてとてとて何月何日何時
とてとてとて何月何日何時
とてとてとて何月何日何時
とてとてとて何月何日何時

龍斷利潤

必定察尤知

音革早速

通知敬復

十貴社發行

多何新聞來月

日々進送因

三ヶ月分代

利法記とてとてとてとて
とてとてとてとてとてとて
とてとてとてとてとてとて
とてとてとてとてとてとて
とてとてとてとてとてとて

十 新聞進送を頼む文

とてとてとて何月何日何時
とてとてとて何月何日何時
とてとてとて何月何日何時
とてとてとて何月何日何時
とてとてとて何月何日何時

價カ并ニ郵使稅トモ。アソコ。コノ。ダシ。ス。

共相副此段及ゴ。イ。ラ。イ。ソ。ワ。ソ。ワ。

御依頼ハシジツ。コノ。マ。勿々

本日ニ。チ。ニ。チ。皇祖

御登極ゴ。ト。ウ。キ。ヨク。

佳節カ。セツ。殊天氣コト。ニ。シ。キ。

長閑ノ。カ。リ。ウ。サ。シ。イ。兩三友ニ。サ。ト。

鎮守社チン。ジュ。ニ。ヤ。ク。イ。外ソ。ト。

新入句

①紀元節官幣社（參詣を約する文）

本日（今日）皇祖（天皇）御登極（御即位）

佳節（佳節）殊天氣（殊天氣）

長閑（長閑）兩三友（兩三友）

鎮守社（鎮守社）外（外）

園（園）醪飲（醪飲）催（催）小生（小生）

加盟（加盟）謹諾（謹諾）

即（即）只今（只今）鎮守（鎮守）

社（社）頭山（頭山）陵（陵）遙（遙）

拜（拜）夫（夫）直（直）芳（芳）醺（醺）

可（可）赴（赴）先（先）走（走）

筆（筆）華（華）

②右小答字文

あ後（あ後）も梅（梅）園（園）は清（清）酒（酒）飲（飲）

に法（法）儀（儀）一（一）々（々）清（清）加（加）盟（盟）

ト云（ト云）ふ謹（謹）諾（諾）は只今（只今）鎮守（鎮守）

社（社）頭山（頭山）陵（陵）遙（遙）に夫（夫）直（直）芳（芳）醺（醺）

可（可）赴（赴）先（先）走（走）

筆（筆）華（華）

③

⑤ 以端書付貴

意ハカキモ。然當時

御地ヲ生系

相場シ何程一

應氣配承面倒

何卒詳細シク報

知此段頗首

⑥ 寸楮ヲ拜啓

⑤ 相庭聞合セの文

以端書付貴

御地ヲ生系

相場シ何程一

應氣配承面倒

何卒詳細シク報

知此段頗首

⑥ 寸楮ヲ拜啓

陳貴兄ノ定

期試験何級及

第殊優等

証書受領ル

敬賀金平素

勉勵効シ

相顯深感佩

輕微何書一

之期試験何級及

第殊優等

証書受領ル

敬賀金平素

勉勵効シ

相顯深感佩

輕微何書一

⑥ 右小答の文

部聊祝印呈上

拜手

⑤教章が拜讀

然小生過

日僥倖漸

何級卒業必須

課本祝授

誠過賞程

教章を讀就てより退白僥倖之漸く何級卒業仕る要記以て課本を祝授し下修得清神なり本へ不致散漫を乞ふ所なり
⑤久く遇ふ人へ贈る文
余後修るべき所を志す所

醜入修謁御

禮不取敢而已

草々敬答

⑤示後俗事

取紛意外無

音本意背貴

家揃愈安康

起居被成

作文受書

仰せ給ふ事なりとて背きし事人
家は揃ひに盡し安康に起
居て心も安んず清光を
以て教を乞ふ所なり
⑤右小答るる文
久安清光を乞ふ所なり
清光を乞ふ所なり

候哉碌々消

光々幸放念

安否不盡

⑤久敷無音

打過芳問

蒙安勝審

欣喜堪弊

家不相變頑

候を言ふ一紙を以て
契あふる愛被健信あふる
はあふる一紙を以て
ふる一紙を以て

⑥摘草ふ人を誘ふ文

四方山をたふれふる
ひるあふる床あふる
一日暇休あふる

健省慮右

不具頓首

④四方山春鶯

友求聲床敷

覺幸明日日曜

休暇一瓢

相携郊外摘

草罷越格別差

新あふる摘ふる
あふる同あふる
あふる同あふる
あふる同あふる

⑦世話あふる人に謝する文

あふるあふるあふる
あふるあふるあふる
あふるあふるあふる
あふるあふるあふる

問同道如何芳

酬以待拜布

⑤ 過日不慮

辨危難相罹

盡力事首尾

能結局於偏

先生蔭深感謝

尚此上萬事

此上之萬事其一二之微
亦非所禮のみるに不
③ 右小答する文

建難お救し仰るるに
以恩勤くは後編るに
以事おしとおすに
亦出来るに難波何なる

宜願上度不取

敢不聲

③ 患難相救

互懸懸使

翰却恐入

以來如何様

出来

③ 宿雨俄晴

涉難後之難難なる

③ 看櫻を誘ふ文

亦も係る時海り
も今を安んず候
相列しはるる
も亦何尉お命
も亦何尉お命
も亦何尉お命

イノチヲササグ

渡處々々ワタリノトコロ櫻花アヅクラハ

サ。イノチヲササグソレヒカク

今盛咲揃格イマサカサキソロヒカク

別差支無之早ベツサシツカヘナクコレサツ

速行厨ソクカウチウ相アヒ

命イノチ東台トウタイ墨ボク

堤テイ散策サンサク遊イウ

賞シヤウ即報ソクハウ奉ホウ

待マチ不贅フゼイ天テン氣キ

世 右小答書文

天予長采府一友々々回遊
弱一里々々家先方俄々
田家来遊弱々家閑と地
る々々々々採芽一々就
を々々々々躍々斜即割貴
々々向々々々々々々々次
長閑一友人々々同遊
相約々々置處先方

俄要用違約ヒツヨウイワヤク

躍ヤク不斜フセ即刻ソクキ

拜啓ハイケイ然昨シタノ

夜新婚ヤシンコン無滯ムシ

相調誠終身アヒトニモウツニエウシ

一事室家イチシシツカ

禮義一定レイギイチテイ重ヂウ

重ヂウ薄儀ハクギ乾カン

悶々モンモン堪兼カンケン幸探芳サイヘンハウ寵誘テウユ蒙欣モウキン

世 新婚を賀する文

お成代々々夜沛新婚々々
お調心儀々々は就々々々
室家々々禮義々々々々々
々々々々々々々々々々々々々
ら就沛運々々々々々々々

作文受書

巻下

脯一連^{ホイチレン}拜^イ

賀^ガ呈上^{テイジョウ}マヌ笑^{シヤウ}

納^ナ本望^{ホンマウ}謹^{キン}

言^{ゲン}シテマ

⑤芳翰^{ハウカン}董誦^{クンシヨウ}

⑥儀^{フンギ}相整^{アイトナヒ}

耳聞^{ジブン}祝詞^{シフジ}

佳品^{カヒン}愛贈^{アイソウ}

まづふりて仕へて御覧なり
りて御覧なり

⑤ 右小答る文

芳翰意通はて候縁を懸ひし
候中下一閑とまゝ一紙祝詞と
して佳景清堂御覧なり
之難き事おぼえんは御覧なり
趣き謝りておぼえんは御覧なり

幾久^{イキダク}拜^イ

賀^ガ拜趨^{ハイソウ}萬謝^{マンシャ}

⑦先謹復^{センキンフク}

⑧夜來^{ヤライ}春雨^{コンユウ}

庭上^{テイジョウ}杏花^{キョウカ}

⑨稍^{シヤウ}相綻^{サキハル}

一酌^{イツシャク}思居^{オモエ}折^セ

節^{マシ}諸君^{シヨクン}枉^{ワウ}

礼のみ後

⑤ 雨中詩會を催す文

雨来ともまうて候なり
お稍お花びらと御一酌の仕
ひたり折る事まゝの御覧なり
相車とおぼえ本月の御覧なり
日と御覧なり
湯を御覧なり

車本月之詩

古禮り、度清上人

會イニク當日ニチ

英 右小答る文

操換評議シテ在

雨多淋ひ〜〜おき〜〜

館ヲ臨車ヲ待

あ〜〜能程〜〜あ〜〜

上マテ

あ〜〜あ〜〜あ〜〜

英 雨窓院淋霰

又得到達〜〜あ〜〜

在意外雅招

刻ぬ錫工仕るふ己

キ蒙森春濤翁

新文詩到達ク相携テ即刻ガ拜趨ハフ不己

英 先刻檣原

英 神武祭ノ野遊を促る文

山陵遙拜

先刻檣原山陵遙拜

眺望途次某樓

次某樓より眺望途次某樓

眺望途次某樓

部〜〜あ〜〜あ〜〜

菜花十分咲

修小貴金畧〜〜あ〜〜

揃恰黄金界

久〜〜あ〜〜あ〜〜

遊行興

あ〜〜あ〜〜あ〜〜

難黙止テ故

〜〜あ〜〜あ〜〜

早速歸宅カヘ

行厨^{ベジ}用意^リ

貴酬^オ不盡^{フジン}

先達^{セシ}依頼^{タイライ}

運誠^{ウン}催促^{サツ}ケ間

敷^{シク}忍入^{ニンイ}已^ニ時^ジ

日^{ジツ}差^サ迫^セ何^{ナニ}卒^{ソツ}

急^{キツ}盡^{ジン}方^ホ頓^{トン}首^{シュ}

所^{トコロ}修^{シユ}新^{シン}衣^イ着^キて歸^{カヘ}宅^{タク}付^{ツキ}居^イる

頼事催促の文

先達^{セシ}は依頼^{タイライ}の上^{ウエ}里^リ以^モ件^{ケン}由^ユ仰^{オウ}せし事^{コト}に^ニ付^{ツキ}て誠^{マコト}に催促^{サツ}ケ間^{カン}敷^{シク}忍入^{ニンイ}已^ニ時^ジ日^{ジツ}差^サ迫^セ何^{ナニ}卒^{ソツ}急^{キツ}盡^{ジン}方^ホ頓^{トン}首^{シュ}

アタマ
サゲル

兼^{カネ}一^{イチ}事^{コト}決^{ケツ}等^{トウ}

開^{カイ}打^ダ棄^シ無^ム之^ノ何^{ナニ}

分^{ブン}何^{ナニ}々^{ナニ}之^ノ次^ジ第^{ダイ}

今^{イマ}遷^{セン}延^{エン}氣^キ毒^{ドク}

然^{シカニ}兩^{リウ}三^{サン}日^{ニチ}中^{チュウ}

必^{カナラ}埒^ラ明^{メイ}此^{コノ}段^{ダン}

~~~~~

右小答ふる文

先<sup>マタ</sup>言<sup>イハ</sup>は<sup>ハ</sup>依<sup>ヨ</sup>影<sup>エイ</sup>に<sup>ニ</sup>付<sup>ツキ</sup>て事<sup>コト</sup>決<sup>ケツ</sup>て等<sup>トウ</sup>閑<sup>カン</sup>に<sup>ニ</sup>付<sup>ツキ</sup>て棄<sup>シ</sup>て無<sup>ム</sup>之<sup>ノ</sup>何<sup>ナニ</sup>々<sup>ナニ</sup>之<sup>ノ</sup>次<sup>ジ</sup>第<sup>ダイ</sup>今<sup>イマ</sup>遷<sup>セン</sup>延<sup>エン</sup>氣<sup>キ</sup>毒<sup>ドク</sup>然<sup>シカニ</sup>兩<sup>リウ</sup>三<sup>サン</sup>日<sup>ニチ</sup>中<sup>チュウ</sup>必<sup>カナラ</sup>埒<sup>ラ</sup>明<sup>メイ</sup>此<sup>コノ</sup>段<sup>ダン</sup>

③ 牽牛花ケンギウカ苗アサ 本日ホンジツニチナギ子ウエ 附ツケ甚ハナ數種カスイロスニ取トリ 雜マシ十四ハジカレ五本ゴホン頂テウ 戴ダイ使シ以モツテ

③ 普請フシン美々ビビ敷シキ 落ラク成セイ此程コホ

③ 牽牛花苗を請ふ文

多る御下へ牽牛花苗  
本日附甚に植付候に度し  
其の上へ甚に數種を附  
十の五本の戴はる候に  
申候しとや

③ 移徙を賀する文

御喜候事と申候に度し

移徙ワタリ輕少キョウセウ 鮮鯛センタイ壹籠イチロウ 進呈シンテイ何不イッレフ 日ジツ拜觀ハイカン旁カタク 參上サンジョウ祝辭イハヒ拜布カイフ 草舍ソウシャ有増アヲマシ 出來レツタ此間漸コノアイダニ 引移ヒキウリ美事ミコト鮮魚センギョ

此程は福地と申す由目出に  
申候に輕少なう鮮鯛を  
就き進呈候に度しと申候に  
参上し祝辭を拜布と申  
候に

③ 右ふ答ふ文

此等事候に申候に度し  
此百漸く引移り候に度し

祝投拜收  
差問明後夕  
方光臨鹿末  
一盞敬復

スル

⑤ 諷評書畫

展覧會  
愈明後日曜日

予ある鮮魚は祝投上下  
系くまぬ收はるる國を  
あつての後夕方より  
光臨するを鹿末まで  
一盞の意を以て  
⑤ 書畫展覧會通知の文  
風評  
愈明後日曜日

正午開會

主被申越貴

家秘藏書

畫携臨席

御報致早々

不宣

⑤ 明日快晴

遊歩山下博

會する會より  
付書る家秘藏  
は携へて臨席  
報せざる不宣  
⑤ 博覽會綴覽を約する文  
明日快晴  
山下博覽會  
致米名國

物館綴覧ル。如  
 何歐米<sup>カ。オウ。ベイ。カ。ア。カ。</sup>各  
 國<sup>コク。シヨ。キカイ。カ。</sup>諸機械既  
 參着<sup>サシヤク。シツヒシ</sup>出品<sup>モ。</sup>  
 増由<sup>マシヨシキ。オモ。カン。カ</sup>間及開暇  
 同伴<sup>ヒドゥバン。オモ。カ。ヒ。シ。</sup>願度  
 不一<sup>フイツ。</sup>  
 此程<sup>コノホド。ホン。コク。モト。</sup>本國<sup>モト。</sup>

是れ等々其出果も其物も由  
 用及びる旨清子候へし其  
 同伴相親なる事有侍ふ  
 右小答ふ文  
 此程本國より一友人宛て  
 上京仕少へ却て見る事  
 也と云ふ所より其宛に  
 を送り難き此の旨を

一友人<sup>イチイナ。シ。トモ。</sup>始上<sup>ハジメ。シ。</sup>  
 京<sup>キョウ。ミヤ。</sup>都下<sup>トウ。カ。</sup>  
 寵誘<sup>テウ。イウ。</sup>蒙難<sup>オモ。ガク。ナ。</sup>有  
 必<sup>カナラ。ア。ヒ。ツ。</sup>相連<sup>サシヤク。</sup>順路<sup>ジュンロ。</sup>  
 貴家<sup>キカ。</sup>タ<sup>ア。</sup>餘<sup>ヨハ。</sup>餘<sup>ヨハ。</sup>面<sup>メン。</sup>  
 晤<sup>ゴ。オ。ミ。カ。</sup>讓<sup>ユウ。</sup>不具<sup>フ。ク。</sup>  
 拜答<sup>ハイ。トウ。</sup>オ<sup>オ。</sup>シ<sup>シ。</sup>ジ<sup>ジ。</sup>  
 上梁<sup>シヤウ。リヤウ。</sup>除<sup>フ。シ。</sup>普請<sup>フシン。</sup>  
 下<sup>シヤウ。リヤウ。</sup>

此れ等々其出果も其物も由  
 用及びる旨清子候へし其  
 同伴相親なる事有侍ふ  
 右小答ふ文  
 此程本國より一友人宛て  
 上京仕少へ却て見る事  
 也と云ふ所より其宛に  
 を送り難き此の旨を

大方成就オホカタキヨウジツ

日棟上荒儀ヒツトウサウカギ

薄酒ハクシュ一樽イツソン

聊祝辭リョウシクジ拜呈ハイテイ

莞留ワンリウ幸甚コウジン

茅居經營モウキョウエイ

日並能故上棟ヒナミヨクニセウワツ

あまはたはしきまをうけ

幸甚

⑤ 右ふ答ふ文

弟居理當者より無能なる故  
本日土棟作更仕祝は祝  
まふまぬ納仕何は後  
得は禮下中は是後

佳祝カキツ祝惠レウヂイ修謁シウエツ造次ソウジ拜復ハイフク

④ 何新聞第何

號社説一関ガウシヤセツイチエン

仰覽濟暫時ゴランヂミザンジ

借用ハ此段不

贅ゼイ

⑤ 西京在留之

友人イウジンモダタ

治新茶便船ヂシナチャビンセン

④ 新聞を借用する文

甚う上るる何新中事  
何號社説一関仕度百沙  
院渡上時借用仕度  
此友仰候新しき不贅

⑤ 新茶を分配する文

西京在留友人より新茶治  
新茶便船に送致

子送越輕少浴。  
 數種取雜スシエトリミヘ。  
 配分ハクブン笑味シヤウミ。  
 本望ホンマツ再拜サイハイ。  
 種シユ遠來エンライ。  
 種シユ惠投ケイトウ早サウ。  
 速ソク拜ハイ啜チュウ何ナニ。  
 格外之風味ゲイゴクノフミ。

し首輕少あづる数種取雜一  
 法分配りて汁吸味とて  
 布巾とて是は唐紙也  
 ④ 右ふ答ふる文  
 遠來し新茶種より種  
 種より惠投はるや何れも  
 種より風味はるや何れも  
 種より感懐はるや何れも

厚意コウイ深感カンガン。  
 謝シヤ敬答ケイトウ。  
 連日レンジツ雨中ウチウ。  
 如何御暮イカニオクサ。  
 野居ヤキヨ徒然トゼン。  
 以之外モソノヘ幽聲ウウシヤウ。  
 極處キョクジョ下物ゲモノ。  
 對酌談笑タイシヤクタンシヤウ。

みよるゝあき  
 ④ 梅雨小友を招く文  
 連日雨中  
 如何御暮  
 野居徒然  
 以之外幽聲  
 極處下物  
 對酌談笑

急務臨車

待

梅霖今日日

鬱陶敷困居

佳招預欣諾

友人某衆

合召連昇堂

差問無之許容

○ 右小答了文

梅霖今日日  
鬱陶敷困居  
佳招預欣諾  
友人某衆  
合召連昇堂  
差問無之許容

更不審

聖 玲庭前其枇

杷黃熟時子達

方慰一籃呈

上 尚然此外

李子 澤山入

用 遠慮被仰

下 勿々走筆

○ 枇杷を贈る文

玲庭前其枇  
杷黃熟時子達  
方慰一籃呈  
上 尚然此外  
李子 澤山入  
用 遠慮被仰  
下 勿々走筆

園中佳菓

澤山投贈

折節親類來客

一同賞味

別鳴謝

瓶聊報禮

托此留拜

答

園中佳菓

澤山投贈

折節親類來客

一同賞味

別鳴謝

瓶聊報禮

托此留拜

答

不參斷りの文

風邪多昨夜

頭痛

出席

諸君

數斷置手數

過日

某氏

理書代價

風邪多昨夜

頭痛

出席

諸君

數斷置手數

過日

某氏

理書代價

程手數恐入端  
書報知セ

此際購求

價格問合定

價併至急入

用失敬用達

早々奉答

此中或何處より手數入  
る共御書にては難知と  
至はぬ致す

右不答する文

此際購求仕中程を價格  
問合せ右より新定價格何程  
に座付候一玉急使入用  
し候より共致あづり用

何處違此頃

螢最中近々之

中供都合節キ

報知セ順路

此方誘頓首

是より一玉急使入用  
し候より共致あづり用

螢狩誘ひの文

何處違此頃  
螢最中近々之  
中供都合節キ  
報知セ順路  
此方誘頓首

蛇舌

○觀螢ルミ麗誘

○拜諾ウチ期日

○不苦ヲ土曜

○日満月夜一入

○愉快諸當日

○晡時ヨコ小子

○宅臨車ヲ早々

○右小答ふる文

親當し御寵誘悉く拝  
從仕、朝日、候、何、日、も  
も、不、苦、何、れ、候、後、に、醒、目、に  
言、満、月、に、入、り、少、く、入、り、愉快  
と、い、ふ、所、百、百、日、晡、時、より、子  
夜、中、に、は、臨、車、と、い、ふ、早、々

拜手。

○前文略高

○免ゾ諸愚弟

○風邪ヲ臥辱

○罷在昨夜來

○執度俄甚困

○居繁務ヲ操合

○枉顧シ頻首

もて、あり、お、い

○鑒師小診察を乞ふ文

前文略、候、言、え、て、い、ふ、所、供  
與、弟、候、風、邪、に、臥、辱、す、所、  
去、り、又、は、夜、來、熱、度、俄、に  
甚、く、一、く、お、困、り、な、り、候、所、  
勢、に、憂、立、つ、て、は、御、操、合、  
枉、顧、と、い、ふ、は、お、御、難、上

⑤ 明後某日小  
 子多生日聊  
 鹿酒差上何  
 卒被仰合枉駕  
 案内傳狀  
 如斯次第  
 不同

明後某日少子生日、月夜無酒  
 差上て度、何所奉仰合  
 午後は、直枉駕とて、右  
 るは案内傳狀、如斯次第  
 次、右不答了文

⑤ 誕辰之賀進  
 魚一籠聊  
 賀意ハハ表進上  
 尊翰某方  
 相達ケ而已草  
 々敬白

御誕辰、賀進、魚一籠、  
 佳報を多かり、奉る、後、何  
 白、魚一籠、聊、賀意ハハ、  
 表、一、魚、一、籠、聊、賀意ハハ、  
 賀意ハハ、表進上、尊翰、某方、  
 相達ケ、而已、草々、敬白

酷暑コクシヨ清勝セイショウ

欽喜キンキ次小ジコ

子シ碌々ロクロク頑ガン

健ケン省慮セウリョ永エイ

菓子一折暑中カハシヒトヨリシヨナウ

見舞印散呈ミマイインサンテイ

消暑セウショ手當テウテ

專一祈拜布センイチイカイフ

酷暑と云ふは清勝と云ふ

事致す秋の涼しき候と頑健

事致す夏の暑き候と永

一折暑中とは見舞の印と

散呈とは見舞の散と

消暑とは消すの意と

手當とは手当の意と

尊ソン翰カン拜見ハイケン

暑威難凌ショイガタクシギ

台候タイコウ清康セイカフ

珍重時候見チンチュウキコウミ

舞佳品マイカヒン投惠トウエ

拜收ハイシウ猶暫ナホヒタタ

炎熱エンネツ折角自セツカクジ

愛アイ禱頻首タイヒンシュ

尊翰拜見とは見舞の意と

暑威難凌とは暑の威を凌ぐの意と

台候清康とは清康の意と

珍重時候見とは珍重の意と

舞佳品投惠とは舞の意と

拜收猶暫とは拜收の意と

炎熱折角自とは炎熱の意と

愛禱頻首とは愛の意と

右小答の文

祭禮小人を招く文

裁答サイダサマヲ

⑤ 來何日何神キルナニチナニジン

社夏祭大賑殊シヤナツマツリホニキリシユ

門前モンゼン神興ミコ

渡御トギヨ線路センロ

見物ミモノ旁子達相ナカコトクナチアヒ

連宵宮祭緩々ツレヨミヤミヤリユルユル

臨車リンシヤ案内オモエナイ如ゴトク

大に賑ふとて殊に中門前

に神輿渡御とて賑路に座

上とて見物者多き途を過

き宵中も亦多き賑はれ候

とておぼしめされ候に

とある

⑤ 右小答する文

何神社系より建迎切に招

此拜手カクハイレユ

⑤ 何神社祭懇ナニジンシヤミコニ

切セツ招命マツキイニ從モト

遠慮豚児エリヨトシジ召モシ

連糸上ツレサシタ決勿カツツ

々頓首タタテマツ

⑤ 今般コンバン某省ミナモトノケ

出仕シツシ拜承ハイシヨウ

きとて難き事なり前より

ひ候事とあるとて略見を連

き系上にて仕へられ下りて

か海に被下りる候にその

み毎々あり

⑤ 任官を賀する文

今般系省へは出仕とある

承仕り今より平生に謹言

全平生績學

結菓

上諸事

隨此品輕

少浴祝詞

呈又叱留幸甚

此程微官

此程微官

結菓をあらわしとす

上諸事を随ひて

少浴祝詞を呈す

又叱留幸甚とす

此程微官をあらわし

此程微官をあらわし

此程微官をあらわし

此程微官をあらわし

拜命

達へ賀意

佳祝

以參

取敢再拜

此間昇進

被遊承全平素

子職務ノ勉勵

章并に佳祝を呈す

達へ賀意を呈す

佳祝を呈す

以參を呈す

取敢再拜を呈す

此間昇進を呈す

被遊承全平素を呈す

子職務ノ勉勵を呈す

効相顯深感  
佩修謁ニカ拜  
賀オモイウセシ  
怡早々不し

過日僥倖  
昇等賀章  
却醜入萬事

佩仕人けは修謁お賀の  
一書へたまつた郵箋は此  
申上るなりと云

④ 右小答する文

退日僥倖と昇等仕人  
より來た書を辱しはる  
しぬ知る醜入は此上る  
は心通し程別る事歟歟

心添程懇願

敬復ス

⑤ 昨今殊更

暑氣酷御同

前を困依同盟

相誘清水寺

觀瀑閣納涼

罷越樂舍向

片末後

⑥ 納涼誘引の文

此今も殊更暑氣酷  
日前困里入依る同盟誘  
ひ清水より觀瀑閣へ納涼  
罷越なるは向ては此年  
より樂舍へ向けは相率  
て下る侍るなりと云

イノチノチ  
イノチノチ  
イノチノチ

枉車ヲ不次

⑤ 炎威難堪

困臥テ暑ヲ消暑

寵誘ヲ敬諾

俟明早天ヲ夜

衆ヲ引取往返

涼一入愉快

失禮一應伺

⑤ 右不答之文

炎威難堪 困臥暑ヲ消暑  
寵誘ヲ敬諾 俟明早天ヲ夜  
衆ヲ引取往返 涼一入愉快  
失禮一應伺

不備

⑤ 此度開場

大角力關東

關西

組評判暑中休

暇兩三日操

合一見貴答

不聲

⑤ 角力見物不誘之文

此度開場 大角力關東  
關西 組評判暑中休  
暇兩三日操 合一見貴答  
不聲

⑤ 多忙<sup>タハヤシ</sup>取紛<sup>トリマシ</sup>

兎角<sup>トカク</sup>無音勝<sup>ムオンガク</sup>

本意<sup>ホンイ</sup>昨今<sup>サクコン</sup>容<sup>ヨウ</sup>

軀<sup>ク</sup>殘暑<sup>ザンショ</sup>尚<sup>ナホ</sup>

酷保<sup>キヒョウ</sup>養<sup>ヨウ</sup>專<sup>セン</sup>

瓶<sup>ビン</sup>粗製<sup>ソセイ</sup>草卒<sup>ソウソツ</sup>

補益<sup>ホコキ</sup>功<sup>コウ</sup>有<sup>アリ</sup>

⑤ 病氣見舞の文

多忙と取紛も兎角は無音勝  
本意昨今容  
軀殘暑尚  
酷保養專  
瓶粗製草卒  
補益功有

之候様承呈上

粲入<sup>サンニラ</sup>草卒<sup>ソウソツ</sup>

⑤ 毎々<sup>マイマイ</sup>懇情<sup>コンセイ</sup>

尋昨今<sup>モンサクコン</sup>熱氣<sup>ネツキ</sup>

次弟<sup>レダイ</sup>消滅<sup>セウメツ</sup>

從食味<sup>シヨクミ</sup>此<sup>コノ</sup>

様子<sup>ヨウシ</sup>遠復常<sup>エンフジョウ</sup>

安心<sup>アンシン</sup>且又佳<sup>カ</sup>

之候様承呈上

⑤ 右不答了文

あはれ思情といはるるに難  
有る謝り候ふも熱氣次第  
消滅仕度る食味由生ト云  
様子遠復常  
安心且又佳  
里れ佳果は遠復常

品ヲ拝受タイ先  
禮耳餘以快  
氣ヨキキハスウ  
テカシ 拜趨リ  
萬謝イ頻首

⑤ 昨今小子  
別業 荷花  
紅白 咲揃且  
水亭 風入納

仕以先を仰「様平」餘は快  
多し上様趣き謝りし末  
に候そ

⑤ 客を邀へて蓮と賞する文  
此方少ふふ業し有るを  
咲き揃ひ思ふ亭より風  
よりくさる所細線芳明  
よりあるは臨きよりなる

涼冷 旁明早天

臨車 案内

⑤ 瑤池之清蓮

龍招き預然此  
間中暑臥辱  
誠遺憾右  
様次第故芳命

は案由中より不次

⑤ 右ふ答ふる文

瑤池に清蓮を愛するは咲揃  
ひより清蓮招き難し  
すかたなるよはより中  
暑より多るは辱き正に憾  
み憾しきよりゆゑお返し  
次第に芳命に應へる

オマオ。コワイ。シロ。モク。  
ニキ。應厚意。深。

感謝。拜復。

避暑賜暇中

一應帰省

國許老人

入浴旁上京

兩三日熱海

出達賢兄持

たゞ正房より程遠く

感謝を為す

温泉同行を約する文

避暑賜暇中一應帰省仕

入浴旁上京

中二熱海へ出立は成賢

兄も同行は持病もよく

病承試同行

拜布

此回老公

上京入湯

生知持病

寵誘に依諾

期日決定

通知ス

推しより一試は向方

何れあす

右小答する文

此回亦老より京より

海へ入浴

生知に持病もよく

て應入浴仕

幸に寵誘を多かり

① 無據來客後

園エシ胡コ子シ花クハギハ

紅コウ白ハク取トリ雜マゼ

兩リウ三サン枝シ頂テイ戴ダイ

後仕小形初日更之毛更  
しつは通ひし程願ふ

① 胡子花を乞ふ文

明日世に授かるるを乞ふ  
より上より一丸清後園  
より子花より白より紅より枝  
頂戴は成はぬ依れども  
と云ふ

① 荒園之萩

ハハ。玲レイ熊クマ拜ハイ呈テイ

所望ショウボウ易イ即即撰撰

使托笑收シヤウシウ拜ハイ

答

① 右小答ふる文

意園に萩花瑞しう  
と為然とあるを  
所望を乞ふ何れ  
易き事即ち枝より  
びは供ふ萩花  
と云ふ

① 昨宵サセウ責サ來ライ

① 來訪を謝する文

オイ<sup>ヒサビサ</sup>々々<sup>ビビ</sup> 唯々<sup>ナ</sup>  
 カウ<sup>カウ</sup>グン<sup>グン</sup> 拜<sup>バイ</sup>聴<sup>テウ</sup>  
 高談<sup>カウ</sup> 拜<sup>バイ</sup>聴<sup>テウ</sup>  
 誠<sup>セイ</sup>村<sup>シユ</sup>酒<sup>ヤ</sup>野<sup>カウ</sup>看<sup>カウ</sup>  
 ナ<sup>フウ</sup>風<sup>セイ</sup>情<sup>セイ</sup>失<sup>シツ</sup>禮<sup>レイ</sup>  
 ジ<sup>ジ</sup>ン<sup>ン</sup> 昇<sup>シヨウ</sup>堂<sup>ドウ</sup>  
 仁<sup>ニ</sup>免<sup>ミ</sup> 昇<sup>シヨウ</sup>堂<sup>ドウ</sup>  
 不<sup>フ</sup>取<sup>トリ</sup>敢<sup>カン</sup>断<sup>ダン</sup>早<sup>ソウ</sup>々<sup>ソウ</sup>  
 頓<sup>トン</sup>首<sup>シュ</sup>

明<sup>メイ</sup>宵<sup>ヨウ</sup>と<sup>ト</sup>即<sup>ソク</sup>貴<sup>キ</sup>来<sup>ライ</sup>訪<sup>ホウ</sup>下<sup>カ</sup>久<sup>キウ</sup>々<sup>カ</sup>  
 月<sup>ツキ</sup>之<sup>ノ</sup>光<sup>コウ</sup>多<sup>タ</sup>候<sup>コウ</sup>而<sup>ニ</sup>照<sup>テウ</sup>る<sup>ル</sup>が  
 たく<sup>タク</sup>幸<sup>コウ</sup>也<sup>ヤ</sup> 隣<sup>リン</sup>に<sup>ニ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>も  
 お<sup>オ</sup>酒<sup>シュ</sup>建<sup>ケン</sup>者<sup>シャ</sup>と<sup>ト</sup>何<sup>ナニ</sup>し<sup>シ</sup>風<sup>フウ</sup>  
 情<sup>セイ</sup>も<sup>モ</sup>多<sup>タ</sup>く<sup>ク</sup>候<sup>コウ</sup>の<sup>ノ</sup>人<sup>ニン</sup>は<sup>ハ</sup>免<sup>ミ</sup>  
 可<sup>カ</sup>く<sup>ク</sup>何<sup>ナニ</sup>し<sup>シ</sup>何<sup>ナニ</sup>き<sup>キ</sup>と<sup>ト</sup>言<sup>イハ</sup>ふ<sup>フ</sup>者<sup>シャ</sup>と<sup>ト</sup>  
 候<sup>コウ</sup>る<sup>ル</sup>人<sup>ニン</sup>と<sup>ト</sup>お<sup>オ</sup>放<sup>ホウ</sup>放<sup>ホウ</sup>と<sup>ト</sup>言<sup>イハ</sup>ふ<sup>フ</sup>者<sup>シャ</sup>と<sup>ト</sup>  
 あり<sup>アリ</sup>

⑤ 未<sup>ス</sup>得<sup>エ</sup>拜<sup>ハイ</sup>顔<sup>ガン</sup>候<sup>コウ</sup>  
 得<sup>ヘ</sup>共<sup>ドモ</sup>

高<sup>カウ</sup>名<sup>メイ</sup> 傳<sup>デン</sup>聞<sup>ブン</sup>  
 景<sup>ケイ</sup>慕<sup>モ</sup> 友<sup>ユウ</sup>生<sup>セイ</sup>  
 某<sup>モウ</sup>某<sup>モウ</sup>堂<sup>ドウ</sup> 唐<sup>タウ</sup>  
 突<sup>ツ</sup>待<sup>タイ</sup>一<sup>イチ</sup>書<sup>ショ</sup> 拜<sup>バイ</sup>  
 呈<sup>テイ</sup>何<sup>ナニ</sup>卒<sup>ソツ</sup>爾<sup>ニ</sup>後<sup>ゴ</sup>  
 誘<sup>ユウ</sup>掖<sup>エツ</sup> 蒼<sup>ソウ</sup>卒<sup>ソツ</sup>  
 誘<sup>ユウ</sup>掖<sup>エツ</sup> 蒼<sup>ソウ</sup>卒<sup>ソツ</sup>

⑤ 未<sup>ス</sup>識<sup>シ</sup>の<sup>ノ</sup>人<sup>ニン</sup>に<sup>ニ</sup>贈<sup>コウ</sup>る<sup>ル</sup>文<sup>モン</sup>  
 未<sup>ス</sup>得<sup>エ</sup>

未<sup>ス</sup>得<sup>エ</sup>の<sup>ノ</sup>人<sup>ニン</sup>に<sup>ニ</sup>贈<sup>コウ</sup>る<sup>ル</sup>文<sup>モン</sup>  
 名<sup>メイ</sup>傳<sup>デン</sup>聞<sup>ブン</sup> 景<sup>ケイ</sup>慕<sup>モ</sup> 友<sup>ユウ</sup>生<sup>セイ</sup>  
 突<sup>ツ</sup>待<sup>タイ</sup>一<sup>イチ</sup>書<sup>ショ</sup> 拜<sup>バイ</sup>  
 呈<sup>テイ</sup>何<sup>ナニ</sup>卒<sup>ソツ</sup>爾<sup>ニ</sup>後<sup>ゴ</sup>  
 誘<sup>ユウ</sup>掖<sup>エツ</sup> 蒼<sup>ソウ</sup>卒<sup>ソツ</sup>

⑤ 右<sup>ミナミ</sup>に<sup>ニ</sup>答<sup>コウ</sup>る<sup>ル</sup>文<sup>モン</sup>

作う様抄書

拜布。

⑤ 瑞翰拜誦ユウカンハイショウ

諸友人シヨウイウジン外ガイ芳ホウ

名傳聞ナデンブン教キョウ

章シヤウ辱ハニ忍入ニンニ

如高論ニクカウロ以來イライ

不フ意コノイ不マロ

才サイカ野生ヤセイ資シ

瑞翰為海客語友人等  
市名名傳耳一々字々  
何とありてあはれなる  
を尋一入るる事候以  
東江起るる程願ふ候  
一とある事すい理生何  
事賢なる事候事候  
候と地へずと候後

益エキ漸愧ザンキ堪カン

拜復。

⑤ 此間コノマタ參上サンジョウ緩ユル

々話取紛タテマツ不計フケイ

長坐チヤザ并ナニ深夜シンヤ

其節借用ケツセツシヤク

大切タイセツ提灯延テイテイエン

引ヒキ失禮幸便シツレイカウビン

⑤ 提灯を返す文

是る事と云ふ候事候事  
賜ふ事と云ふ候事候事  
来る事と云ふ候事候事  
いほ提灯を返す候事  
あづかる事候事候事  
いほは提灯を返す候事  
⑤ 中秋舟行を勧むる文

下

掌シヤウ不一フイツ

⑤今宵之清光コヨヒノセイキウ

近年キンネン之珍メダラシ

中秋チュウシュウ然シカレ芋獨イモドク

酌シヤク殺風景サツマツキ

唯今小舟タビイマワシウ泛フキ

墨堤上流ボクテイジヤウリウ省カン

今宵之清光也。中夜獨酌。殺風景。唯今小舟泛。墨堤上流。省。

月ツキ懽愉快カンユクタイ

貴兄キケイ夕タ他ニ前ゼン

約ヤク同ドウ意イ

⑥如命ニクシイ本ホン年ネン

之中秋ノチュウシュウ近來キンライ

稀マレ清朗セイラウ

空カラ寢睡ニンズイ遺憾イカン

折舟セフネ行ユキ雅ガ

下ゲ文モン受ジュ書ショ

⑦右小答ふる文

如命也。中秋之夜。本年中。如命也。中秋之夜。本年中。如命也。中秋之夜。本年中。

誘<sup>イウ</sup>泣<sup>ナリ</sup>飲<sup>キン</sup>諾<sup>ダク</sup>ヨロ

新鮮之鱸<sup>シセシノスギ</sup>アタラシ

手相携<sup>テアヒタサシ</sup>參<sup>サン</sup>扣<sup>コ</sup>井<sup>ヰ</sup>

先般<sup>センバン</sup>用達<sup>イユダツ</sup>

金件<sup>キンケン</sup>子<sup>コ</sup>手許<sup>テモト</sup>

都合承<sup>ツガフシヨウ</sup>知<sup>チ</sup>通<sup>ツト</sup>日<sup>ニチ</sup>

頃商品<sup>ゴロウヤウヒン</sup>買<sup>カヒ</sup>

入<sup>イレ</sup>内帑<sup>ナイドウ</sup>拂<sup>フツ</sup>底<sup>テイ</sup>

そ

⑤ 貸金催促の文

先般用達より金  
件より何れに都金  
も在り也承知し通  
し商品買入の時より由  
帑を拂底張と知り  
百の金と本因三十日

殆<sup>カチ</sup>困<sup>ボト</sup>却<sup>クシ</sup>返<sup>ヘン</sup>

納<sup>ナウ</sup>此<sup>コ</sup>段<sup>ダン</sup>寸<sup>モン</sup>積<sup>チキ</sup>

得<sup>エ</sup>貴<sup>キ</sup>意<sup>イ</sup>不<sup>フ</sup>次<sup>ジ</sup>

此<sup>コノ</sup>度<sup>タクビ</sup>商<sup>シヤウ</sup>用<sup>イユ</sup>

京<sup>ケイ</sup>阪<sup>バン</sup>地<sup>チ</sup>方<sup>ハフ</sup>

足<sup>ツツ</sup>或<sup>アル</sup>友<sup>イフ</sup>人<sup>ジン</sup>傳<sup>デン</sup>

承<sup>シヤウ</sup>就<sup>キウ</sup>此<sup>コノ</sup>品<sup>シン</sup>鹿<sup>ナ</sup>

末<sup>マツ</sup>驢<sup>ゴ</sup>晋<sup>シン</sup>呈<sup>テイ</sup>今<sup>コン</sup>

あて雁印は宛あつたは  
以寸格るも不次

⑥ 人小驢する文

此度は商用にて京阪地方へ  
は数回し式する友人より  
傳承付然しは東京より  
来るハハはるも此度の即ち  
吾等は何時か来るあり

明兩日 フウリヤウジツ スフツカ萬

端 タテマテ 召不備

④ 至急 シキウ 下向 ゲカウ

要用出來 エウイヤウシラタキ キル キル

今夕留主中萬 コノセキル スナウバン

事者護 シカンゴ 手教 シキヤウ

錢別贈與 センベツツウコ シ

拜受 イジユ 修謁 シウエツ シ

多上乃端下 タカニノタテマテ 下 ゲ 不備

⑤ 右小答 ミナミコタヘ 文

至多 シタカ 乃端 ノタテマテ 地方 チホウ 巾向 キンカウ 仕要

用出 ユウデ 束修 スツシュウ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ

乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ

乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ

乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ

乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ

不取敢御禮 フトリアヘノラレイ

⑥ 拜啓家祖 バイケイカソ シ

何年忌佛事 ナニシキブツジ シ

相管操合當日 サイカンサウカウジツ シ

午前 ゴゼン 臨車 リンシャ

案内 アンナイ 以端 イタテマテ

書得貴意 ガキユキイ

是修得系 シシュトウケイ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ

⑦ 祖先祭日 ソウセンサエジツ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ

乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ

乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ

乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ

乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ

乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ 乃端 ノタテマテ

主とん少次

④令閨坊平産

母子コ安康

發隨紅木綿一

反鹿末聊祝儀

莞留方鄙懷

口慰拜布

④出産を賀する文

沛令閨坊平産此母子大  
出安有子由目お慶ま  
隨る赤糸線一反鹿末な  
ら聊は祝儀を修へ度  
是る留とつりたを鄙懷を  
慰まらんぬ申

④荆妻マ分婉

佳品ケカ投

贈ル拜納る母

子共頑健シヤ

省慮シ禮草々

拜復

④天長節

休暇ミ同盟マ

④右小答ふる文

荆妻分婉はれ月何より佳  
不ほ投贈るふまお細  
き母子大頑健に喜まん  
将ふとつりは省るふま  
先を御禮申しそぬぬ  
④天長節菊見を約する文  
以て右主と長節に休暇を

誘合日頃評判

高栖鴨造菊遊

覽路次貴

家子參扣井

只今山邸

一友人魁先

松茸到來

輕少一籃

今日思誘金ひ日評

判高き栖鴨造菊遊

仕友は日頃より

貴家に向ふ参扣

茸狩案内の文

只今山邸に友人を魁先

に松茸到來仕付輕少

なづら一籃は初めより

裾分何日頃親

友誘合茸狩

罷越貴兄タ差

支同行拜布

積雨霽渡

人意快適

採草誘欣喜

又布分何日頃親友誘合を

茸狩よそに越越に

貴兄は支付に

同行に

上る

右ふ答ふる文

積雨霽渡人々

採草誘欣喜

不斜<sup>スナタラ</sup>猶又<sup>ナホマツ</sup>  
斬新<sup>サンシン</sup>惠<sup>エ</sup>投<sup>トウ</sup>拜<sup>ハイ</sup>  
味<sup>ミ</sup>謹<sup>キン</sup>答<sup>タフ</sup>

④此頃<sup>コノゴロヨ</sup>余程<sup>ホドヨ</sup>夜<sup>ヨ</sup>  
長相<sup>ナガサマ</sup>會<sup>カヒ</sup>小生<sup>コセイ</sup>方<sup>カタ</sup>  
文章<sup>ワカ</sup>軌範<sup>キパン</sup>輪<sup>リン</sup>  
講<sup>コウ</sup>尤<sup>モトモト</sup>會頭<sup>クワイトウ</sup>

似<sup>ニ</sup>於<sup>オ</sup>斜<sup>タラ</sup>片<sup>ハ</sup>於<sup>オ</sup>又<sup>マタ</sup>斬<sup>サン</sup>新<sup>シン</sup>  
相<sup>サマ</sup>年<sup>ネン</sup>以<sup>ヨリ</sup>惠<sup>エ</sup>投<sup>トウ</sup>を<sup>ヲ</sup>奉<sup>ホウ</sup>じ<sup>ニ</sup>何<sup>ナニ</sup>よ  
里<sup>リ</sup>難<sup>ナン</sup>を<sup>ヲ</sup>奉<sup>ホウ</sup>じ<sup>ニ</sup>味<sup>ミ</sup>謹<sup>キン</sup>答<sup>タフ</sup>  
礼<sup>レ</sup>の<sup>ノ</sup>み<sup>ミ</sup>多<sup>タ</sup>く<sup>ク</sup>儀<sup>ギ</sup>を<sup>ヲ</sup>奉<sup>ホウ</sup>じ<sup>ニ</sup>  
⑤夜學<sup>ヤガク</sup>を<sup>ヲ</sup>約<sup>ヤク</sup>する<sup>ス</sup>文<sup>モン</sup>  
以<sup>ヨリ</sup>頃<sup>ゴロ</sup>余<sup>コノ</sup>程<sup>ホド</sup>夜<sup>ヨ</sup>長<sup>ナガ</sup>く<sup>ク</sup>あ<sup>ア</sup>る<sup>ル</sup>  
故<sup>ユヘ</sup>回<sup>ヘ</sup>志<sup>シ</sup>あ<sup>ア</sup>る<sup>ル</sup>を<sup>ヲ</sup>方<sup>カタ</sup>と<sup>ト</sup>爲<sup>ナ</sup>す<sup>ス</sup>  
手<sup>テ</sup>執<sup>シツ</sup>範<sup>パン</sup>編<sup>へん</sup>傳<sup>でん</sup>信<sup>しん</sup>度<sup>ど</sup>尤<sup>モトモト</sup>會<sup>カヒ</sup>頭<sup>トウ</sup>

某<sup>ナニ</sup>先生<sup>センセイ</sup>若<sup>ニハ</sup>明<sup>メイ</sup>宵<sup>セウ</sup>  
出<sup>デ</sup>席<sup>セキ</sup>被<sup>ヒ</sup>降<sup>カウ</sup>拜<sup>ハイ</sup>  
首<sup>ユ</sup>

④夜學<sup>ヤガク</sup>催<sup>モウ</sup>勉<sup>ベン</sup>強<sup>キヤウ</sup>  
感<sup>カン</sup>佩<sup>パイ</sup>承<sup>ショウ</sup>知<sup>チ</sup>通<sup>トウ</sup>  
學<sup>ガク</sup>校<sup>カウ</sup>試<sup>シ</sup>驗<sup>ケン</sup>則<sup>ソク</sup>課<sup>カ</sup>  
書<sup>シヨ</sup>欲<sup>ヨク</sup>復<sup>フク</sup>習<sup>シツ</sup>打<sup>ウチ</sup>

と<sup>ト</sup>ある<sup>ル</sup>に<sup>ニ</sup>ハ<sup>ハ</sup>先生<sup>センセイ</sup>若<sup>ニハ</sup>明<sup>メイ</sup>宵<sup>セウ</sup>  
出<sup>デ</sup>席<sup>セキ</sup>被<sup>ヒ</sup>降<sup>カウ</sup>拜<sup>ハイ</sup>  
明<sup>メイ</sup>宵<sup>セウ</sup>に<sup>ニ</sup>あ<sup>ア</sup>る<sup>ル</sup>を<sup>ヲ</sup>方<sup>カタ</sup>と<sup>ト</sup>爲<sup>ナ</sup>す<sup>ス</sup>  
手<sup>テ</sup>執<sup>シツ</sup>範<sup>パン</sup>編<sup>へん</sup>傳<sup>でん</sup>信<sup>しん</sup>度<sup>ど</sup>尤<sup>モトモト</sup>會<sup>カヒ</sup>頭<sup>トウ</sup>  
⑤右<sup>ミダリ</sup>不<sup>フ</sup>答<sup>コタヘ</sup>する<sup>ス</sup>文<sup>モン</sup>  
夜<sup>ヨ</sup>長<sup>ナガ</sup>く<sup>ク</sup>あ<sup>ア</sup>る<sup>ル</sup>を<sup>ヲ</sup>方<sup>カタ</sup>と<sup>ト</sup>爲<sup>ナ</sup>す<sup>ス</sup>  
手<sup>テ</sup>執<sup>シツ</sup>範<sup>パン</sup>編<sup>へん</sup>傳<sup>でん</sup>信<sup>しん</sup>度<sup>ど</sup>尤<sup>モトモト</sup>會<sup>カヒ</sup>頭<sup>トウ</sup>

寸暇勝手濟スシカ。カッテ。ス。  
次第席末シダイ。セキ。マツ。グ。加クハ。  
懇願コンガン。敬白ケイハク。

⑤ 今夕イ來客コンセキ。ライカク。  
所藏ショザウ。煎茶センチャ。  
器一具キイチグ。暫時ザンジ。  
拜借ハイレバク。允用濟インヨウ。セイ。

在保未後習在保未後習。おしりうす  
吸ス。もせりもせり。在在在在。借借。りうすりうす。お  
しりうすしりうす。在在在在。借借。りうすりうす。お  
しりうすしりうす。在在在在。借借。りうすりうす。お

⑤ 品物借用の文

④ 直返却スグ。ヘン。キヤク。何ナニ。  
卒ソツ。許容キョウヨウ。貸與カイク。  
拜手ハイシユ。

在在在在。借借。りうすりうす。お  
しりうすしりうす。在在在在。借借。りうすりうす。お  
しりうすしりうす。在在在在。借借。りうすりうす。お

④ 右不答ふる文

④ 入用ニウイヨウ。品見ヒンミ。  
苦貴命クキメイ。隨便ズイベン。  
渡用濟後留置ワクシイヨウ。セイ。ゴ。トシ。ナキ。  
聊差問他イサカサ。ツケ。タニ。遠エン。

在在在在。借借。りうすりうす。お  
しりうすしりうす。在在在在。借借。りうすりうす。お  
しりうすしりうす。在在在在。借借。りうすりうす。お

慮仰 リヨオホセ

④ 近街 キンガイ 出火 シホクハ  
○スデニ 己 モハ 華屋 アチ  
○セウ 延焼 ヒク 消防 シ  
○チン 盡力 キリヨク 鎮火 シクハ  
○エ

此は留置卿と聞かす  
猶他に仰入用と品は中々  
其まてふも不し  
⑤ 近火見舞の文  
承りしに、以取近街より  
出火とて、華屋より延焼  
致し、又消防方より力を

誠無難 マコトニナン 驚愕 オドロキ

④ 鹿酒 シニユ 一樽 イツソン  
見舞 ミマイ 呈上 テイシヤウ 納 ナツ  
手 テ 他 タ 後刻 ゴコク  
相讓 アヒ 不具 フグ

④ 如爾書 ニョクジンヨ

て程よく、誠中、何れより、  
此等、難く、ぬき、て、  
此は、驚愕、と、  
承り、し、に、  
以、取、近、街、  
より、出、火、  
と、て、華、  
屋、より、  
延、焼、  
致、し、又、  
消、防、  
方、より、  
力、を、

⑤ 右小答ふる文

意外イゲワイ急火オモイカク  
 驚愕オドロキ陰無カゲナシ  
 難ナン鎮火チンカ安アン  
 心將シンハタ又遠路マタトコロ  
 熊々クマクマ使問シモン  
 且カ佳品セヒン  
 愛贈アイゾウ懇切コンセツ  
 感佩カンハイ紛忙カンバウ

此書明夜もふかき  
 火とて大なる火は  
 影を以て先くとも  
 何れも清安心より  
 是迄と云ふ能くは  
 且佳品と云ふ能く  
 懇切に程よく有  
 感佩中より云ふ能く

造次ゾウジ再拜サイバイ

拜啓バイケイ嘸何品ハナニシナ

愈年内中ユウネンナカ買カヒ  
 取手配金圓トリテカリキンエン  
 少々シラシラ不足フソク  
 若手許來月融モシテモトノスゲニウ  
 通ツウ利子リシ  
 何程期限無相ナニホドキゲンナクサウ

造次再拜

金子借用の文

お破綻を還るは影に  
 何れも清安心より  
 是迄と云ふ能くは  
 且佳品と云ふ能く  
 懇切に程よく有  
 感佩中より云ふ能く



久敬クウケイ海怒カイゴ

水鳧ミヅワカ一籠イチロウ

到來トウライ任時ニジキ候コウ

御窺ミウカミ敬呈ケイテイ

笑味ミヤウミ保重ホウチュウ

禱イノリ不莊フサウ

寒氣サムイ甚シ

愛贈アイゾウ拜受ハイジュ

トクハカハ一籠到來任時  
時依トキヨ寛カンとてお呈仕テイジ言  
沙サ笑味ミヤウミ被レ下カ下カ下カ下カ  
下カ下カ下カ下カ下カ

笑タテ右小答ミナモト文

言コト事コト事コト事コト事コト事コト  
個コノ所トコロ所トコロ所トコロ所トコロ所トコロ  
何ナニ事コトのノ事コトのノ事コトのノ事コト

報禮ホレイ霜蟹ソウカイ

一桶ヒトツケ有合アリアヘ序貢ソコウ

上ジヤウ叱シツ置チ幸カウ

甚ジンホシ

夜來ヤライ瑞花ズイカ

四望シバウ銀世ギンセ

果カイ村酒ムンシユ温オン

獨酌ドクシヤク幽興ユウキョウ

まゝまゝまゝまゝまゝまゝ  
何ナニ事コトのノ事コトのノ事コトのノ事コト  
梅ウメ子コ子コ子コ子コ子コ  
上ウヘ仕シ仕シ仕シ仕シ仕シ

觀雪誘カンセツユひの文

若ニホ事コト事コト事コト事コト事コト  
界カイとトとトとトとトとト  
活カツ免メン弱ジュク弱ジュク弱ジュク弱ジュク弱ジュク

牛肉某樓登臨  
余。シヤウセツ。ヘヒト。シホ  
リ。賞雪。ニ。一。入。  
愉快。信。參。扣。ル。  
芳酬。ニ。蒼卒。

先般深物最  
早追々時日差  
迫縫裁困却

かたしは白牛肉とては  
二葉梅へやと臨雪雪は  
二梅枝とては日向とて  
子連とては一向け系扣は  
中芳細とては常平

先般深物催促の文

先般は依頼し上る深物  
最下は出たてとては

何卒今明  
兩三日中漆上  
以端書催促

残臘今少  
迎年之御營  
繁忙是迄  
打棄家事一時

歳暮の文

残臘今少しとては  
年一とては  
如くとも

卷一

素々としてゐる。所々、

仕と用とを以て例

通竊卯一龍萊善祝

後とてあまに任官す

喚入無名錄事郎

懷石居士筆

百 右小答ふる文

東抄正堂開法回前

三石庵記

起章并佳脱を贈り物

王少伯仙書

明倫彙編 家範典 卷一百一十五

すゝもてさるにや幸

去後在斯一以百御毫

留之於此造次相復

作文教授書 卷一

K110.82-107

初等作文教授書卷之下了

明治十五年十月三日版權免許  
同 十六年一月十九日改題御届  
同 十六年一月 刻成出版

編輯人

小川伊典

大阪府平民

府下住吉郡平野郷脊戸口町  
四千六百六十四番地

出版人

松村九兵衛

府下南區心齋橋筋  
走丁目四十三番地

作文教書

卷一

1